

件名	令和2年度第1回那珂川市行政改革推進委員会	場所	勤労青少年ホーム 2階会議室1.2
日時	令和2年10月16日	金曜日	自 13時30分 至 15時45分
委員氏名	牟田正人、芋生修一、倉富史枝、真鍋勝仁、八代由美、高木正俊、井上真一、園田博美、黒岩仁、中野満美子、石田和男、木村正信		
事務局	荒木経営企画課長、藤島経営管理担当係長、藤（文責）		
【以下、要点筆記】			
会長	1. 会長あいさつ		
会長	2. 今後の行政改革の基本方針に基づく取組み状況について（報告）		
	それでは、今後の行政改革の基本方針に基づく取組み状況について、事務局より説明をお願いします。		
事務局	（進捗シートに基づき、事務局より説明） 重点的に推進していく3つの柱について、1つずつ説明を行う。 「1. 職員の意識改革と人づくり」について説明。		
会長	職員派遣研修と階層別職員研修は、どのような違いがあるのでしょうか。		
事務局	職員派遣研修は「地方創生実践塾」というものがあり、職員を県外に派遣するものです。階層別職員研修は市役所内部で、専門の講師を呼んで行うものです。例としては、若手職員対象や管理職対象研修等です。		
会長	地方創生実践塾はどれくらいの期間、職員を派遣させるのでしょうか。		
事務局	地方創生実践塾は、年間を通して様々な研修が組み込まれているものであり、通常は、2日間にわたって行われることが多いです。現在、地方創生の取り組みが各地で行われています。研修は中でも、すばらしい取組みをされている地域を会場として行われています。そこに職員を派遣させることにより、職員の意識改革を図っています。階層別研修は、「コミュニケーション能力」、「文書能力」など、公務員としての基礎知識を学ぶ研修です。		
A 委員	改革の進め方について、3つの柱とありますが、このテーマを選んだのは、市民の意識調査または市役所で取りあげた課題なののでしょうか。職員の意識改革については、既に解決している課題で、市民がよりよい暮らしができるための課題などを基本方針に挙げた方が良いのではないのでしょうか。		
事務局	3つの柱については、今まで行ってきた行政改革の中で、今後も取り組んでいくべき課題として挙げています。また、職員の意識改革については、多様化する市民サービスに対応していくために、職員自身のスキルを高めていかなければならないと考えています。		
B 委員	地方創生実践塾には実際に職員は参加しているのでしょうか。 また、業務のスリム化などを目指して、IT化などは進んでいるのでしょうか。		

事務局	<p>地方創生実践塾については、令和元年度に1名の職員を石川県に派遣しています。研修テーマは「働く場のヒトとヒトをつなぐ公民連携ネット」です。</p> <p>令和2年度については、現時点で職員を派遣できていません。</p> <p>また、業務のIT化については、現在、所属長級の職員に貸与しているタブレットを活用して、オンライン会議等を実施しています。今後は、更に範囲を広げていくなから、業務のIT化、市民サービスの質の向上へつなげていきたいと考えています。</p> <p>また、来年度は、RPA、AI-OCRの実証実験を行う予定です。</p>
C委員	<p>職員の意識改革について、市としての基準を定めた、育成指標などを設定しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>設定していません。</p>
A委員	<p>研修の参加は希望制なのでしょうか。</p>
事務局	<p>地方創生実践塾は希望制です。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で県外に職員を派遣できていない状況となっています。</p> <p>階層別職員研修は、採用された職員が段階的に受講する研修となっており、例えば新規採用職員が、公務員としての基礎知識を1週間程度学ぶ研修などがあります。</p>
D委員	<p>今年度の職員の年休取得率をわかる範囲で教えてください。</p>
事務局	<p>9月末時点で取得率は概ね18%です。那珂川市では5月から10月まで夏季休暇（特別休暇）を優先して取得しています。総務課からは、現時点で例年と変わらない取得率であると聞いています。</p>
D委員	<p>行政改革は1年を通じで行うものであるため、上半期の状況を現時点で把握しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、9月末時点の取組みをとりまとめているところです。</p>
D委員	<p>毎月進捗をチェックしていくべきなのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、目標設定、細かい進捗のチェックは必要だと考えていますが、現時点ではこの進め方でやらせていただいております。</p>
B委員	<p>何年度までに業務を半分にするなど、具体的な数値目標の設定は行わないのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的な数値目標は設定せず、目標に対して、段階的に取り組んでいくこととしています。</p>
B委員	<p>具体的な数値目標がないと、何を目的に取り組むべきなのかわからなくなるのではないのでしょうか？</p>
事務局	<p>何年度までにこの数字を達成しようということではなく、各年度で目標を設けて、各年度でその目標を達成していこうというやり方を取り入れています。ただし、那珂川市には「総合計画」、「総合戦略」といったものがあり、数値目標を決め、具体的にいうことを盛り込んでいます。例えば人口に関しては「総合戦略」の中で目標を決め、施策が行われています。</p>

事務局	「2. アウトソーシング等の推進」について説明。
D委員	P F I手法導入について、「優先的検討規程」とは何でしょうか。
事務局	市はこれまでに、指定管理者制度、民間委託など民間の賃金やノウハウを活用し、市民サービスの充実を図ってきたところですが、今後は、公民連携（P P P）の更なる推進のため、公共施設等の整備等にあたり、市の直営といった従来手法に優先して多様な公民連携事業手法を検討するための規程です。
D委員	「優先的検討規程」はいつまでに制定する予定ですか。
事務局	今年度中を目標にしています。
B委員	P P Pを取り入れている具体的な例を教えてください。
事務局	福岡市が「油山市民の森」と「油山牧場」を再整備するにあたり、両施設を公共エリアと民間活用エリアに区分して運営していく手法をとる予定です。市は公共エリアの指定管理費と基盤、インフラ施設整備費を負担し、民間活用エリアについては民間企業に費用負担や、運営そのものを任せる形で検討しているとのこと。
会長	指定管理者制度よりは、市の負担を減らすために、P P Pなどを取り入れる団体が少しずつ増えてきているという認識でしょうか。
事務局	お見込みのとおりです。
E委員	窓口の委託職員についてですが、先日の特別定額給付金事業で、DV被害者の情報の取り扱いに関するニュースが報道されました。そういった業務委託に係る情報などは、委託職員の方にも共有していく必要があります。間違いが起こってはならない業務も多いため、ワンストップができていくという結果だけで満足するべきではないと考えます。
会長	委託業者に対して、職務に当たる際の研修等は行わないのでしょうか。
事務局	市役所から直接の研修は行っていません。委託業者側で包括して業務研修を行って、市に派遣しています。ただ、委員がおっしゃったDV被害者の情報の取り扱い等の対応については、今後も市職員と委託業者が協力して行っていく必要があります。
D委員	窓口満足度について、回答者の2.5%は待ち時間が「長い」と回答しているとのことですが、十分な数字ではないと思います。逆に回答者の何%が満足すればいいと考えていますか。
事務局	進捗確認シートでは、令和5年度には96%の満足度を目指すと記しています。待ち時間が「長い」と回答している方については、そもそも手続きに時間がかかる業務なのか、それとも職員間の連携で解消できるものなのか、そこを精査していこうという考え方です。
会長	後期高齢や、児童手当などワンストップで済まない対応業務もあるのではないのでしょうか。
事務局	物理的に無理な業務も当然あります。しかし、職員間の連携を行うことで解消できる部分もあるというのが所管課の意見です。

会長	電子申請についてはどう考えていますか。
事務局	具体的にはまだ着手していませんが、国も行政手続きのデジタル化を目指しており、市としても今後、検討していく必要があります。
会長	地方自治体のシステム標準化の動向はいかかでしょうか。
事務局	国から、地方自治体に対して、システムに関する調査が行われているところです。各自治体によって、システムは様々であり、標準化は時間と費用を要すると考えられます。
会長	他に質問等はありませんか。
副会長	窓口業務に関してですが、自治会の加入について、「あくまで任意」と案内された方がいると聞いています。自治会の重要性は高まっていますが、なかなか加入していただけない状況です。安否確認など、命に係わることでもあるので、自治会加入についてはしっかり案内していただきたいです。
事務局	自治会加入については、パンフレットを配布し、メリット等を説明している状況です。ただし、窓口に来られた方から「強制加入しなければいけないのですか」と問い合わせがあった際は、「強制ではありませんが、メリットはこれだけあります」と説明させていただいています。今後も自治会加入のご案内には、積極的に取り組んでいきます。
D委員	大野城の「まどかフロア」などがワンストップ窓口といわれていますが、那珂川市も同じようにワンストップ窓口を目指しているのでしょうか。
事務局	物理的に無理な業務もありますが、可能な限りワンストップ化を目指しています。
B委員	窓口のワンストップ化を目指すにあたって、労働時間がかなり減った等の効果は見えているのでしょうか。
事務局	窓口業務の委託を始めて今年度で3年目となっています。人件費は、増税や市制施行、会計年度任用職員制度により、年度毎に多少の増減はありますが、サービス面では、質が良くなっているというアンケートの回答が多いです。来年度からも窓口業務を引き続き委託するかも含めて、現契約の内容を分析して今後の窓口業務の運用につなげていく予定です。
事務局	ワンストップを推進するにあたって、職員削減、業務の効率化、勤務時間の削減につながり、様々な効果が出ています。数値目標には表せない効果も当然ありますが、数値化できるところは確認していきます。
F委員	窓口から担当課に業務を引き継ぐ場合など、待ち時間が長くなる等の弊害はあります。ワンストップが可能な業務の範囲を明確に打ち出していきたいです。
会長	昨年度も同様の意見があった。前回の委員会意見に対して、所管課の考え方が「案内方法の見直しを図る」と簡単に書かれているので、もう少し具体的に考えを出していただきたい。

事務局	「3. 財政マネジメントの強化」について説明。
B委員	個別施設計画の策定の進捗はいかがでしょうか。
事務局	個別施設計画の策定は、令和元年度中に終了しており、令和2年度は施設により優先順位をつけて、改修しているところです。 小、中学校を除く88の施設を対象としており、各行政区の区公民館は計画に含まれておらず、那珂川市で管理している施設が対象となっています。
B委員	建物に関して、何年維持させようといった基準はありますか。
事務局	学校でいえば、50年を持たせようといった目標が当初はあり、長寿命化を行う事で、より長い期間建物をもたせるといった考えもありますが、改修には莫大な費用がかかるため、このような計画を策定し、優先順位をつけ中長期的に改修していこうというものです。
D委員	財政マネジメントの強化について。進捗確認シートにもう少し具体的な数字を出してほしいです。
事務局	補足ですが、個別施設計画に伴い、ミリカローデン那珂川の改修工事、片縄小学校の体育館の床の改修工事、南畑幼稚園と岩戸北幼稚園の廃園、民間企業への委譲といった事業に着手しています。
D委員	着手している事業について、どれだけ予算が使われているか進捗がわかるようにしていただきたいです。
D委員	ふるさと納税について。昨年の那珂川市の納税額は県内で何位だったのでしょうか。
事務局	平成31年1月1日～令和元年12月31日までの1年間は、県内9位となっています。
A委員	博多南駅付近では駐車場が多いです。固定資産税などの税収増加が見込めないのでしょうか。もっと駅周辺の在り方について考えるべきだと思います。
副会長	敬老祝金について、昨年度は、区から手渡ししていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、申請書を役所に郵送し、口座に振り込むという形をとっています。 他の自治体を調べてみたところ、祝金を出している自治体は少なかったようです。今年度は郵送費も発生しており、今後高齢者が増えることを鑑みると、祝金の金額を一律にするか、祝金の給付自体を見直すことも考えなければならないのではないのでしょうか。
B委員	財政計画については事業の廃止など細かいものは盛り込まれていますか。 また、那珂川市は森林が多いので、森林環境税などの使い道などは計画に盛り込まれているのでしょうか。
事務局	財政計画は各事業の細かい計画ではなく、総額ベースがどうなのかと明示的に追っていくものです。 森林環境税については基金といったところに積み立てるものになっており、具体的にどう使うのか現時点で把握をしておらず、今後検討していくべきものだと考えています。

F 委員	進捗シートの所管課の意見で、「道善・恵子の新市街地や県条例に基づく区域の指定を行った東隈での住宅の増加により、固定資産税増加に取り組んでいる。」とありますが、これだけで税収の増加が期待できるのでしょうか。
事務局	あくまで税収増加のための施策の1つであり、他にも取り組んでいる施策はありません。
G 委員	昨年度の委員会で、ふるさと納税の今後の方向性について聞いていましたが、委員会からの意見として挙がっていません。
会長	進捗確認シートについては、より具体的な数字があれば、わかりやすいです。 事務局への質疑は以上で良いでしょうか。
事務局	(事務局から、「財政基盤の再構築」と「働き方改革」の取組みについて説明)
会長	他に質問等はありませんか。それでは、これまで出た意見を事務局でまとめていただきたいと思います。次回につきましては、令和3年1月から2月頃に開催予定ということで、事務局にて調整をお願いいたします。 以上で令和2年度第1回那珂川市行政改革推進委員会を終了します。
(15時45分 閉会)	